

あとは身にひつつ
いた粉を払うだけ

野性的にというか泥臭くというか・・・・・・・・。

先端は、

多少雑にというか適当にということも雲の上では大切なのだ。

雲の上には更にいっぱい雲があるなどという野暮な
ことは言わずに・・・・・・・・。

少し浮いてそこに出来た空間に、

やけにいっぱいひっついた粉をあとはブルブルと払うだけ。

体験版は以上になります。ご読了ありがとうございます。
した。